

No.4 対面式（4月9日）

4月9日（火）、生徒自治会の進行で新



入生と2，3年生との対面式を行いました。



生徒自治会長、東 幸輝さんの挨拶

新入生163名の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ八鹿高校へ。皆さんと初めて相見ることのできるこの日を、私達上級生一同心待ちにしていました。

扱、此度晴れてこの伝統ある八鹿高校に入学された皆さんですが、心の内は期待と不安が半々といったところではないでしょうか。ですが、何も気負う必要はありません。我が校の掲げる「文武両道」という言葉は大層なものに聞こえるかも知れませんが、それを実現するための方法は単純明快です。それは、身の回りで起こる全てのことを全力で楽しむことです。勉学にもスポーツにも必要な、最も根本的な要素はやる気です。何事にも前向きに取り組み、楽しもうとする姿勢があれば大抵のことは乗り越えられる筈です。それでもどうしてもなく困った時には、遠慮は一切要りません。私達先輩を頼ってください。必ず力になります。79回生の皆さん、前途は洋々です。伝統あるようか高校の生徒であることに誇りを持ち、最高に有意義な学校生活を共に送りましょう。

新入生代表 吉井 水杜さんの挨拶

上級生のみなさん、初めまして。私たち新入生は昨日、期待と不安が入り混じった複雑な心境でこの八鹿高校に入学しました。

高校という新しいステージでの生活が始まると思うと、とてもわくわくします。しかし、楽しいことがあるからには、苦しいこともあると思います。勉強や部活動、人間関係など私たちの前にはこれから数知れないほどの壁が立ちはだかることでしょう。そんなときこそ、頼れる先輩を見本にし、仲間の力も借りながら、どんなことにも笑顔で立ち向かっていこうと思います。

さらに、この世には「無意味こそが有意義」という名言があります。学校に通って学ぶこと自体は意味のないことのように思えますが、そこに意味を見出すことが人間の真髄を探るということだということです。だからこそ、物事に対して消極的にならずに、取り組む過程で意味を見いだしていく姿勢を大切にしたいと思っています。

私たちはまだまだ未熟で、困ることも多いと思いますが、高校での三年間はきっと未来への架け橋となるので、先輩方とともにすばらしい思い出をつくりたいです。よろしくお願いいたします。

(生徒の原文ママ)